

初開催

京都市×大丸京都店



「Savoir-faire des Takumi 対話と共創」の 「ART@DAIMARU～次世代アートフェスタ～」への出展について

京都市及び大丸京都店では、かねてより京都に息づく伝統産業の魅力をより多くの方に知っていただく機会を作るため、連携して様々な取組を行ってまいりました。

この度、大丸京都店が全館で企画する「ART@DAIMARU」内において、アートフェア「次世代アートフェスタ」が開催されます。そして、本アートフェアでは、京都市が支援するアートプロジェクト「Savoir-faire des Takumi 対話と共創」の参加者のうち5名が出展しますので、お知らせします。

1 ART@DAIMARU (アート・アット・ダイマル) について

- (1) 概要: 「Smile & Love」をテーマに大丸京都店全館で行うアートの祭典
- (2) 実施日: 令和3年5月26日(水)～6月15日(火) 午前10時～午後7時
※ただし5月29日(土)及び30日(日)は休業
※5月31日(月)の6階イベントホール、
6月14日(月)の6階ミュージアムは、午後5時閉場
- (3) 場所: 大丸京都店 各階
- (4) その他: 展示即売・いずれも入場無料 ※ただし「第55回 伝統工芸染織展」は有料

2 次世代アートフェスタについて

- (1) 概要: 注目のギャラリー等がブース展開を行うアートフェア。京都市が支援する「Savoir-faire des Takumi 対話と共創」の参加者のうち5名が出展
- (2) 実施日: 令和3年5月26日(水)～5月28日(金) 午前10時～午後7時
- (3) 場所: 大丸京都店 7階催会場
- (4) その他: 「Savoir-faire des Takumi 対話と共創」(※)からの出展者(5名)は次頁のとおり

(※)「Savoir-faire des Takumi 対話と共創」について

京都市・パリ市の職人やアーティストたちが互いに交流し、それぞれの文化や技術からインスピレーションを受けながら、世界のアート市場に向けた、新しい作品の創作等をサポートするプロジェクトです。

各都市から選抜された職人やアーティストたちが、各国の工房をめぐり、ワークショップやディスカッションを重ね、自国にはない新しい技法を学び、お互いの独創性を養うことで、グローバルなアート市場を志向した新たな作品を創作します。

そうして生み出された作品は、日本とフランスの両国で展示されることで、これまで活躍してきた国や場所とは異なる文化背景を持つ方々に出会います。このプロジェクトでは、職人やアーティストたちが経済的に自立・発展していくための基盤づくりを行うことも目的のひとつになっています。

<実績>

- 平成31年1月 国際見本市「メゾン・エ・オブジェ」に出展(パリ)
令和2年2月 国際現代アート作品フェア「Collect」に出展(ロンドン)
令和3年2月 京都伝統産業ミュージアムでの展示会
同 3月 アートフェア「アートフェア東京2021」に出展
IWAI OMOTESANDO での展示会



【出展者紹介】

上田 普 (うえた ひろし)

1974 年生まれ。書家。国内・欧米でのギャラリー個展・グループ展やアートフェア出品実績多数。平面作品のみならず、書の奥行きを表す立体作品やオブジェ、パフォーマンスなど、幅広いジャンルで新たな書の表現を模索し続けている。



給田 麻那美 (きゅうた まなみ)

1985 年生まれ。寺院彩色師・現代美術家。
職人として培った寺院彩色の技を生かしながら、自然の中にインスピレーションを見出し、立体作品を中心に制作。
日本画の技術から漆まで幅広い素材を駆使し、鳥・蝶・花、人物などのモチーフを描き上げる。本展では繭と羽化をイメージした作品を出品予定。



戸田 蓉子 (とだ ようこ)

1979 年生まれ。漆芸家。パリにてインターン中に漆に興味をもち、帰国後、東京藝術大学名誉教授大西長利氏に師事し漆芸を学ぶ。
液体・個体と漆の本質を横断的に表現する作品を数多く制作し、ロンドンの工芸アートフェア「Collect」にも出品。



國廣 沙織 (くにひろ さおり)

1985 年生まれ。書家。「書」を基盤として国際交流活動を重ね、商業ロゴ制作、書籍題字、命名書、印鑑制作、書道に関するワークショップの開催、現代アートとしての書の制作など多岐にわたる活動を行う。



林 侑子 (はやし ゆうこ)

1981 年生まれ。陶芸家。京焼・清水焼の「紅村窯」4代目。
自家の焼き物の技術伝統を守りつつも、自分ならではの表現を模索し、和菓子の技術を応用した「土鉄 (つちばさみ)」にたどり着く。
個展・グループ展多数のほか、ロンドンの工芸アートフェア「Collect」でも高い評価を得る。



※新型コロナウイルス感染症拡大状況により、内容が変更となる可能性があります。

＜お問合せ先＞

【「Savoir-faire des Takumi 対話と共創」に関すること】

京都市産業観光局 クリエイティブ産業振興室 伝統産業担当

電話 (075) 222-3337 メールアドレス densan@city.kyoto.lg.jp

【「ART@DAIMARU」に関すること】

株式会社大丸松坂屋百貨店 大丸京都店 PR 広報 担当：長谷川 眞之

電話 (075) 241-6974 メールアドレス masayuki.hasegawa@jfr.co.jp